

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

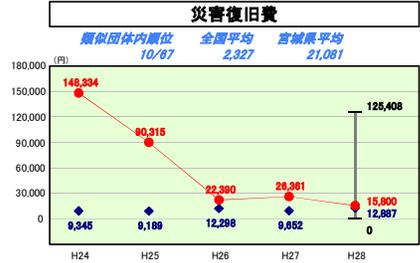
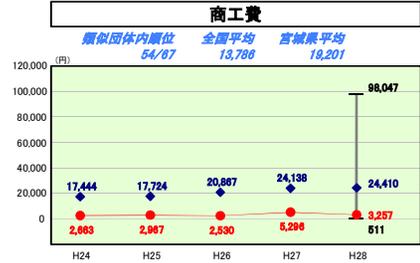
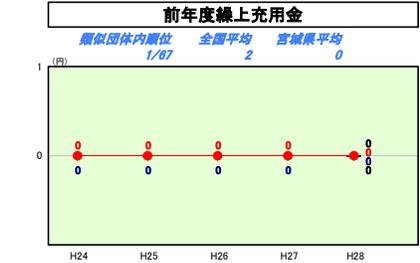
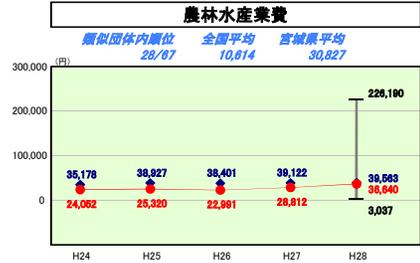
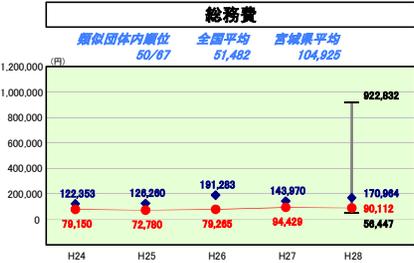
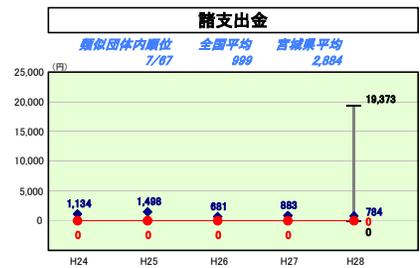
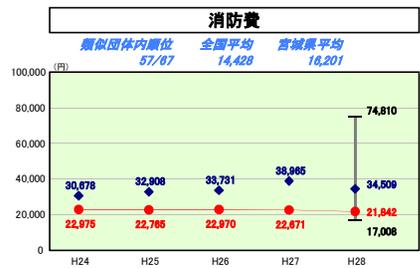
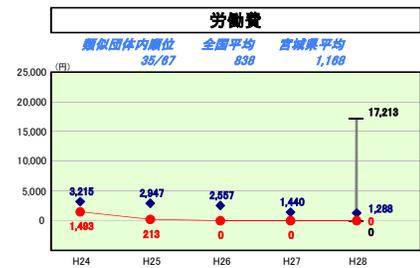
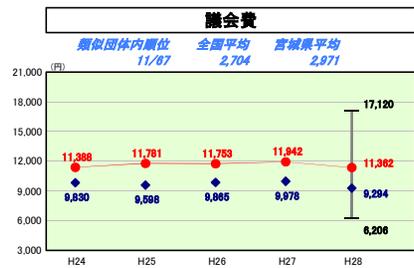
平成28年度

宮城県大郷町

人口	8,380	人(H29.1.1現在)	実赤字比率	-	%			
うち日本人	8,327	人(H29.1.1現在)	連続実赤字比率	-	%			
面積	82.01	km <sup>2</sup>	実公債費比率	9.8	%			
歳入総額	5,293,997	千円	実負担比率	8.5	%			
歳出総額	4,907,494	千円	市町村類型	H24 II-2	H25 II-2	H26 II-2	H27 II-2	H28 II-2
実収支	243,401	千円	(年度毎)	H27 II-2	H28 II-2			
標準財政規模	2,934,855	千円						
地方債現在高	4,452,243	千円						

- 当該団体値
- ◆ 類似団体平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析概**  
 民生費については、住民一人当たり155,804円となっている。前年度と比較すると37,910円(32.2%)増加しているが、児童館建設等によるものである。土木費については、住民一人当たり88,714円となっており、町道改良舗装工事や橋梁改良工事により道路橋梁費が増加している。総務費については、住民一人当たり90,112円となっており、まち・ひと・しごと創生総合戦略や個人番号制度導入による事業費が増加している。教育費については、住民一人当たり62,522円となっており、社会教育センター建設等のあった前年度より減少したものの、平成24年4月に小学校が1校に統合したことに伴うスクールバス運行等により増加している。災害復旧費については、平成23年度に東日本大震災による災害復旧事業費の支出が多額だったため、平成24年度と比較すると住民一人当たり災害復旧費で132,534円の減となった。土木費については、町道改良舗装工事のほか橋梁改良工事の増等により平成24年度と比較すると住民一人当たり33,775円増加した。また、衛生費については、ゴミ焼却処理等一部事務組合負担金が減ったことにより、平成24年度と比較すると3,802円減少した。